

教科	数学	科目(単位数)	数学B(1) 数学C(1)	学年	3年	類型	普通科
学習目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) (数学B) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(数学C) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) (数学B) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。(数学C) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) (数学BC) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						

期間	単元(学習内容)	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法
【1学期】 4月～6月	数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	・確率変数と確率分布について理解することができる。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。	・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。	・基礎的な問題に粘り強く取り組むことができる。 ・問題解決の過程を振り返り、考察を深めることができる。	知：定期考査 日々の演習 思：定期考査 主：日々の演習
【1学期】 6月～7月	数学B 第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測	・標本調査の考え方について理解を深めることができる。 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解することができる。	・目的に応じて標本調査を設定し、収集したデータを基に、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。	・基礎的な問題に粘り強く取り組むことができる。 ・問題解決の過程を振り返り、考察を深めることができる。	知：定期考査 日々の演習 思：定期考査 主：日々の演習
【1学期】 7月	数学B 第2章 統計的な推測 ～研究問題～	・第2章で学習した用語や公式を利用することができる。 ・第2章で学習した例題を解くことができる。	・身のまわりの事象を、数学を利用して適切に表現し、問題を解決しようとする ことができる。 ・問題の解決に向けて、筋道立てて説明することができる。	・身のまわりの事象に数学が利用できることで、数学のよさを認識することができる。 ・他人と協働して課題を解決しよう することができる。	知：レポート 思：レポート 主：レポート
【2学期】 9月	数学C 第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル	・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの成分表示、内積について理解することができる。	・実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。	・基礎的な問題に粘り強く取り組むことができる。 ・問題解決の過程を振り返り、考察を深めることができる。	知：定期考査 日々の演習 思：定期考査 主：日々の演習
【2学期】 10月	数学C 第1章 ベクトル 第2節 ベクトルと平面図形	・平面上の位置ベクトルについて理解することができる。 ・平面上の直線のベクトル方程式について理解することができる。	・平面上の位置ベクトルを平面図形に応用し、共線条件や一次独立、交点の位置ベクトルについて考察することができる。	・基礎的な問題に粘り強く取り組むことができる。 ・問題解決の過程を振り返り、考察を深めることができる。	知：レポート 思：レポート 主：レポート
【2学期】 11月	数学C 第1章 ベクトル 第3節 空間のベクトル	・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張することができる。	・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、空間図形の性質を見出し、多面的に考察することができる。 ・共面条件について理解し、空間図形に応用することができる。	・基礎的な問題に粘り強く取り組むことができる。 ・問題解決の過程を振り返り、考察を深めることができる。	知：定期考査 日々の演習 思：定期考査 主：日々の演習
【2学期】 12月	数学C 第1章 ベクトル ～研究問題～	・第1章で学習した用語や公式を利用することができる。 ・第1章で学習した例題を解くことができる。	・身のまわりの事象を、数学を利用して適切に表現し、問題を解決しようとする ことができる。 ・問題の解決に向けて、筋道立てて説明することができる。	・身のまわりの事象に数学が利用できることで、数学のよさを認識することができる。 ・他人と協働して課題を解決しよう することができる。	知：レポート 思：レポート 主：レポート
【2学期】 12月 【3学期】 1月	数学B・C 総合演習 統計的な推測・ベクトル	・数学B・Cを中心に、今まで学習した用語や公式を利用することができる。 ・数学B・Cを中心に、今まで学習した例題を解くことができる。	・身のまわりの事象を、数学を利用して適切に表現し、問題を解決しようとする ことができる。 ・問題の解決に向けて、今までの学習内容を関連付けながら、筋道立てて説明 することができる。	・基礎的な問題に粘り強く取り組むことができる。 ・問題解決の過程を振り返り、考察を深めることができる。	知：定期考査 日々の演習 思：定期考査 主：日々の演習

使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「最新 数学B」(数研出版) 「最新 数学C」(数研出版)
学習方法	授業では、教科書の内容と例題を教師と対話しながら学習し、その後練習問題を解く。 家庭では、授業で扱った問題を数値を変えて演習し、復習型の学習に取り組む。 日常生活と関連した問題やコンピュータを活用した学習等(研究問題)に取り組むことで、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価について	①定期考査：主に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価する。 ②提出物(日々の演習)：主に「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ③レポート(各学期末等)：主に「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 *各単元における評価方法は、上記の「評価方法」の通りである。